

## 令和2年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立青少年センター
施設所管課・担当	こども青少年局企画部青少年課（青少年企画）
条例上の設置目的	青少年に対し音楽、舞蹈、美術その他の芸術（以下「音楽等」という。）の創作、練習又は発表の場を提供することにより、青少年の自主的な音楽等の創作活動を支援し、青少年相互の交流を促進するとともに、青少年の文化と教養を高め、もって青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 講演会、講習会、音楽等の発表会の開催その他青少年の文化又は教養の向上に関すること (2) センターを青少年の利用に供し、その団体活動の育成を図ること (3) 青少年に対する各種の相談、指導及び助言を行うこと (4) 青少年の宿泊のための施設を提供すること (5) その他市長が必要と認める事業
成果指標	文化ゾーン利用者数／宿泊ゾーン利用者数
数値目標	243,000人／22,000人
指定管理者名	公益財団法人 大阪ユースホステル協会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	文化ゾーン利用者数	宿泊ゾーン利用者数
数値目標	243,000人	22,000人
年度実績	91,235人	941人
達成率	37.5%	4.3%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
年間利用者数(文化ゾーン)	91,235人	231,701人	39.4%
年間利用者数(宿泊ゾーン)	941人	16,623人	5.7%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (当年度実績－当年度計画)	主な要因
業務代行料	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
利用料金収入	実績	39,711,242	164,201,725	-147,050,478	・新型コロナ感染症拡大防止に伴う施設の臨時休館や施設利用人数の制限等による施設利用者数の減
	計画	186,761,720	185,354,500		
その他収入	実績	100,732,915	40,163,925	61,737,915	・利用料金収入に同じ (なお、当年度実績には、大阪市からの補填額52,131,551円を含む。)
	計画	38,995,000	40,571,068		
自主事業収入	実績	7,462,505	24,359,212	-24,547,495	・利用料金収入に同じ
	計画	32,010,000	33,740,100		
合計	実績	147,906,662	228,724,862	-109,860,058	
	計画	257,766,720	259,665,668		

支出		当年度	前年度	差異 (当年度実績－当年度計画)	主な要因
人件費	実績	79,563,405	96,841,721	-24,551,085	・施設の利用状況や利用実態に合わせた勤務シフトの見直し等による人件費の減
	計画	104,114,490	109,767,164		
物件費	実績	61,163,101	110,594,979	-62,185,529	・施設利用人数の減による施設管理費、光熱水費の減等
	計画	123,348,630	114,208,113		
その他事業費	実績	2,792,808	1,377,035	1,692,808	・青少年育成事業の実施に係る感染症拡大防止対策経費等の増
	計画	1,100,000	1,868,400		
自主事業支出	実績	12,952,368	27,269,180	-16,251,232	・施設利用人数の減によるレストラン部門の経費の減等
	計画	29,203,600	31,995,358		
合計	実績	156,471,682	236,082,915	-101,295,038	
	計画	257,766,720	257,839,035		

## 令和2年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
文化ゾーン利用者数	37.5%	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、評価を「—」とした。
宿泊ゾーン利用者数	4.3%	—	同上

## (2) 市費の縮減

管理経費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<b>【人件費】</b> ・施設利用人数の減に伴い勤務シフトを見直し、経費を削減 <b>【物件費】</b> ・ダンス練習室照明のLED化 ・利用者登録など、WEB化の促進による省力化の推進 ・電力会社の契約先変更による電気料金の節減	B	・本市からの業務代行料はなし。

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	A	新大阪周辺地区帰宅困難者対策協議会へ参加し、災害時には帰宅困難者に対する情報発信基地として機能することとなっている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

## 5 利用者ニーズ・満足度等

<b>【文化ゾーン関係】</b> ・青少年育成事業（ダンス発表会）で実施したアンケートでは、コロナ感染症対策をはじめとする主催者側の対応について、概ね肯定的な意見が多かった。 <b>【宿泊ゾーン関係】</b> ・ユースホステル宿泊者へのアンケートでは、「Wi-Fi」について、約10%の方が不満であったが、その他の項目（スタッフのサービス、清潔さ、料金等）については、「よい」、「まあまあよい」との回答が100%であった。
--

## 令和2年度 指定管理者年度評価シート

## 6 外部専門家意見

- ・新型コロナウイルスの影響により、成果指標（利用者数）が未達成となっているのはやむを得ない。
- ・一方、新型コロナウイルス感染防止対策について実施している。
- ・オンライン環境を伴う施設利用者の増加が見込まれることから、更なる通信環境の整備に努められたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、適切な評価ができないと判断した。
市費の縮減	B	・キャッシュレス決済の促進や節電・節水への取り組み、照明のLED化の促進など、利用者へのサービス向上を図りつつ、管理運営経費の縮減に努めていた。 (なお、本施設は、独立採算制で運営されており、本市からの業務代行料はなく、直接的な市費の節減は生じないが、本市への利益配分額に影響するため、評価をしている。)
管理運営の履行状況	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館時の予約者へのキャンセル対応等も丁寧に行われており、また、感染防止対策として、施設利用者への消毒液や除菌シートの貸出しや、館内の定期的な消毒も確実にを行うなど、安全で安心な施設運営ができていた。</li> <li>・利用促進への取り組みとして、文化ゾーンでは、需要に応じて企画製作室の増室や美術工作室の多目的化を図っていた。また、宿泊ゾーンでは、宿泊プランの追加や、新大阪駅の「駅マルシェ」と提携し、宿泊者にクーポン券をプレゼントするなど、様々な工夫を凝らしていた。</li> <li>・地域の小学生の職場探検の受け入れや、各種協議会にも積極的に参画するなど、地域との交流や社会貢献に取り組んでいた。</li> </ul>
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	